

母豚400頭が入って悪臭は？

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

12月5日に委員会が開催され近々の状況説明があった。米沢三元豚(株)が経営する豚舎で、10月末までに親豚400頭が導入された。東根環境保全会議が11月14日に開催され、豚舎外に新しく導入した設備（糞尿分離機、密閉型大型コンポスト、自動給餌装置など）の説明と農道の敷地境界付近での臭気測定を実施した。臭気については肥育舎付

近や風向きによって若干の臭いはあるものの、約50分間の測定結果は低い値またはゼロを示した。との報告があった。議員から、飼料米と堆肥の循環など業者と地域間での良好な関係を築いていってほしいとの意見があり、業者も地域と循環する形で取り組んでいきたいと考えており、町でも研究していく。とのことであった。

隣接民地の取得で敷地計画イメージを変更

庁舎等整備特別委員会

11月20日に委員会が開催され役場庁舎等整備基本構想（案）について、その変更点について説明があった。役場北側の民有地の取得により、敷地面積は約17000㎡となり、分署棟、及び訓練スペース、エネルギー棟、役場庁舎などの配置を変更するとともに、敷地入口について西側を閉鎖して北側に新設する。概

算事業費についても用地補償費等の追加や渡り廊下の削除などにより総額を31億3千万円とする。今後のスケジュールとして27年1月までに町民からのパブリックコメントを実施して構想を決定し、3月までに設計業務のプロポーザルを行って設計業者を決定する。との説明を受けた。

コミセン経営主体組織が各地区で設立予定

11月26日に全員協議会が開催され、コミュニティセンター化の状況について、
 ・管理運営の指定管理を受ける経営主体組織が、各地区で設立が予定されている。
 ・地域づくり交付金の内容に、特色ある地域づくり事業に対する特別枠としての支援を追加する。
 ・各コミセンの職員は、地区経営主体ごとに募集して27年1月中を目的に選考し雇用するが、初年度については、雇用条件を同じくするなど共同で行う事もある。
 など説明を受けた。



取得した役場北側用地

先進地に学ぶ

議会運営委員会研修報告

(10月30日～31日)

■コミュニティセンター移行の効果と課題「福島県会津坂下町」
 平成25年4月から地区コミュニティセンターに移行されているが、大半は自主公民館の時の事業がそのまま、なぜコミュニティセンターなのか理解されないまま進んでいるなど課題がある一方、将来的には自主財源を得られるような事業展開もできるように運営主体を法人化できればと考えているなどの状況で、効果や課題については当町でも想定され、参考にすることも重要と思われる。

■情報ネットワーク(テレビ電話)

開設での課題「新潟県阿賀町」

テレビがデジタル化されての難視聴地域解消が要因で、平成19年～21年に光ケーブルでのネットワーク工事や機器設置を行って稼働した。高齢者の健康管理や交流会話、地域ごとの緊急放送や事項伝達などの利点があるなかで、システムの契約更新時の高費用が課題とのことでした。